

のびのび通信 第66号

2011年7月

色鮮やかな粘土で、工作！



「のびのび」の活動テーマは、大きく分類すると「調理」「創作」「野外活動」「有酸素運動」ですが、今回は、「創作」に挑戦です。創作活動の場合は、手順書が欠かせないアイテムのひとつですが、今回は、意識的にオリジナルの手順書を用意せず、創作キットと同梱されている説明書で対応してみました。



なぜ、梱包の説明書を使ったかということ・・・

手順書は、確かに、特性から支援として欠かせないものですが、いつも自分にとって最適な支援が存在するとは限りません。今回の工作キットのように説明書があれば、「そこに書いてあるでしょ」と済まされてしまうかもしれません。一般的な説明書も使ってみて、それで対応できるのか、説明書に記載されている内容では情報が不足しているのか、そんなことをこの実体験を通じて感じてほしいと考えたからです。



でも、面白い現象が・・・

説明書どおりに工作を進めると、バラのフラワーカップができるはずなのですが、出来上がった作品は？

ピカチュウ、ワニ、パンダ、水族館、アンパンマン・・・
などなど



マニュアルにこだわることなく、自分がイメージするものを作ることができました。

色つけや土台づくりなど必要最低限のルールは、説明書どおり進め、具体的な作品は、“きまり”にとらわれることなく、“自分ができるところ”に全力を尽くすことができたって素敵でしょ!(^_^)!

ただ、今回の工作は、結構、難易度が高かったようで、子ども達だけでなく、大人もぐったり。集中力が切れたときは、ダラダラと惰性的な動きになりがちですが、そこは、「のびのび」の活動。活動後のお楽しみを設定しているんです。疲れた後（活動後）は“おやつ”というスケジュールがルーティン化しているため、集中力が切れても、みんな、おやつを楽しみにして、頑張れたようです。おやつも大切な支援のひとつですね。ちなみに、今回のおやつは、みんなの希望で、アイスクリームでした。

【のびのびのホームページ】 <http://nobinobi.big-site.net/>

小さな任意団体ですが、「のびのび」はホームページを使って情報を発信しています。このホームページには、もうひとつ目的があって、みなさんに経済的なご支援をお願いしています。ホームページには、[アマゾンの広告](#)があります。これを経由して商品をご購入いただくと、「のびのび」に広告料が入るシステムなんです。ぜひ、のびのび HP 経由でお買い物。



発行：発達障害児支援サークル「のびのび」